

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	・研修に先立ち、介護職の現場、仕事内容について具体的なイメージを持ち、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	2	2	—	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の概念</li> <li>・介護保険サービス（居宅・施設・地域密着型サービス）</li> <li>・介護保険外サービス</li> </ul>
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	—	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅・施設の多様な働く現場における、それぞれの仕事内容や居宅・施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ</li> <li>・介護の資格とキャリアシステム</li> <li>・ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携</li> </ul> <p>【演習実施方法】</p> <p>グループディスカッションにて、現段階での介護職のイメージや知っていることを出しながら、自身の今後の目標・研修参加目的・これから学ぶべきことを確認する。</p>
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを理解する。</li> <li>・介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解する。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1	3	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重の為の取り組み</li> <li>・QOL・ノーマライゼーションについて</li> <li>・バリアフリー・ユニバーサルデザインについて</li> <li>・虐待防止と身体拘束禁止</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権と尊厳の保持</li> <li>・QOL・ノーマライゼーションについて</li> <li>・バリアフリー・ユニバーサルデザインについて</li> <li>・虐待防止・身体拘束禁止</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要</li> </ul>
② 自立に向けた介護	3	1	2	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援</li> <li>・介護予防</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援</li> <li>・介護予防</li> </ul>
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	—	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権について</li> <li>・人権への取り組み</li> <li>・身近な人権のこと</li> </ul> <p>【演習実施方法】</p> <p>身の回りにある差別や人権問題についてグループで出し合い、介護職としてどうとらえるべきか、ディスカッションを行う。</p>
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称：社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策を理解する。</li> <li>・要介護者の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を取られることができ</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の専門性</li> <li>・介護に関する職種</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護環境の特徴の理解</li> <li>・介護の専門性</li> <li>・介護に関する職種</li> </ul>
② 介護職の職業倫理	1.5	0.5	1	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業倫理</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業倫理</li> </ul>
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1	0.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故予防</li> <li>・感染予防</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における安全の確保</li> <li>・事故予防・安全対策</li> <li>・感染対策</li> </ul> <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい手洗いの実践</li> </ul>
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員の安全衛生</li> <li>・介護職員のこころの健康管理</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の心身の健康管理</li> </ul>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	手洗い石鹼・ペーパータオル・手指消毒液
------------	---------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称：社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	・介護保険制度および障がい者総合支援方法の目的、サービス利用の流れを理解する。 ・各専門職の役割・責務についてその概要のポイントを理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	4.5	1	3.5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度創設の背景および目的・動向</li> <li>・仕組みの基本的理解</li> <li>・制度を支える財源・組織・団体の機能と役割</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度創設の背景及び目的・動向</li> <li>・仕組みの基本的理解</li> <li>・制度を支える財源・組織・団体の機能と役割</li> </ul>
② 医療との連携とリハビリテーション	2	0.5	1.5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における医療と福祉の連携</li> <li>・介護職と医行為</li> <li>・リハビリテーション</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における医療と福祉の連携</li> <li>・介護職と医行為</li> <li>・リハビリテーション</li> </ul>
③ 障がい者総合支援制度およびその他の制度	3	0.5	2.5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉制度の理念</li> <li>・障がい者総合支援制度の仕組みの基本的理解</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉制度の理念</li> <li>・障がい者総合支援制度の仕組みの基本的理解</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要</li> </ul>
(合計時間数)	9.5	2	7.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	・高齢者や障がい者とのコミュニケーションの目的を理解し、その方法や行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1. 5	1. 5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割</li> <li>・コミュニケーションの技法</li> <li>・道具を用いた非言語コミュニケーション</li> <li>・利用者・家族とのコミュニケーション</li> <li>・利用者の状況、状況に応じたコミュニケーション技術の実際</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割</li> <li>・コミュニケーションの技法</li> <li>・道具を用いた非言語コミュニケーション</li> <li>・利用者・家族とのコミュニケーション</li> <li>・利用者の状況、状況に応じたコミュニケーション技術の実際</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b></p> <p>2人もしくは3人でグループになり、様々な応答の仕方や話し方、コミュニケーション方法を体験する。感想を発表してもらう。</p>
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1. 5	1. 5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録における情報の共有化</li> <li>・報告・連絡・相談</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録における情報の共有化</li> <li>・報告・連絡・相談</li> <li>・コミュニケーションを促す環境</li> </ul>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称: 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(6)老化の理解			
指導目標	・加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1. 5	1. 5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</li> <li>・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</li> <li>・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</li> </ul>
② 高齢者と健康	3	1. 5	1. 5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と健康</li> <li>・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と健康</li> <li>・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</li> </ul> <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体温計測・電子血圧計を用いた血圧測定・脈拍の計測</li> </ul>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	体温計・電子血圧計
------------	-----------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(7)認知症の理解			
指導目標	・認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1.5	0.5	1	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの理念</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの理念</li> </ul>
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1	0.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の概念</li> <li>・認知症による障害、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント</li> <li>・健康管理</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の概念</li> <li>・認知症による障害、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント</li> <li>・健康管理</li> </ul>
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	1	0.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人の生活障がい</li> <li>・認知症の利用者への対応</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人の生活障がい</li> <li>・認知症の利用者への対応</li> </ul> <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで事例検討を行い、認知症利用者への実際の対応方法や本人理解についてディスカッションを行う。</li> </ul>
④ 家族への支援	1.5	0.5	1	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の受容過程での援助と介護負担の軽減</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の受容過程での援助と介護負担の軽減</li> </ul>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(8)障がいの理解			
指導目標	・障がいの概念とICF、障がい者福祉、およびそれを踏まえた介護の基本的考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基本的理解	1	0. 5	0. 5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの概念とICF</li> <li>・障がい者福祉の基本理念</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの概念とICF</li> <li>・障がい者福祉の基本理念</li> </ul>
② 障がいの医療的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解	1	0. 5	0. 5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障がい</li> <li>・精神障がい</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障がい</li> <li>・知的障がい</li> <li>・精神障がい</li> <li>・その他の心理の機能障がい</li> </ul>
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0. 5	0. 5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の心理・かかわり支援</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の心理・かかわり支援</li> </ul>
(合計時間数)	3	1. 5	1. 5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学 習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	3	2	1	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理論に基づく介護</li> <li>・法的根拠に基づく介護</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理論に基づく介護 (ICFの視点に基づく生活支援の理解)</li> <li>・法的根拠に基づく介護</li> </ul>
② 介護に関するこころのしくみの基本的理解	3.5	2	1.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と記憶の基礎知識</li> <li>・感情と意欲の基礎知識</li> <li>・自己概念と生きがい</li> <li>・老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と記憶の基礎知識</li> <li>・感情と意欲の基礎知識</li> <li>・自己概念と生きがい</li> <li>・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因</li> <li>・こころの持ち方が行動に与える影響</li> <li>・からだの状態がこころに与える影響</li> </ul>
③ 介護に関するからだのしくみの基本的理解	3.5	2	1.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識</li> <li>・ボディメカニクスの活用</li> <li>・こころとからだを一体的に捉える</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識</li> <li>・骨・関節・筋に関する基礎知識ボディメカニクスの活用</li> <li>・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識</li> <li>・自立神経と内部機関に関する基礎知識</li> <li>・こころとからだを一体的に捉える視点</li> <li>・利用者の様子の普段との違いに気づく根拠</li> </ul>
④ 生活と家事	4	3	1	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事と生活の理解</li> <li>・家事援助に関する基礎的知識と生活援助</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事と生活の理解</li> <li>・家事援助に関する基礎的知識と生活援助</li> </ul> <p>【演習実施方法】</p> <p>少人数グループに分かれ、ベッドを用いての実技演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーツ交換(ベッドに人がいる場合・いない場合)</li> </ul>
⑤ 快適な居住環境整備と介護	1.5	1	0.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な居住環境に関する基礎知識</li> <li>・高齢者・障がい者特有の居住環境整備</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な居住環境に関する基礎知識</li> <li>・高齢者・障がい者特有の居住環境整備</li> <li>・福祉用具に関する留意点と支援方法</li> </ul>

⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整容に関する基礎知識</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整容に関する基礎知識</li> <li>・整容の支援技術</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数グループに分かれて実技演習を行う</li> <li>・衣類着脱の基本的手順（上着・ズボン）</li> <li>・ベッド上での衣服の着脱</li> <li>・洗面（顔の拭き方）</li> <li>・口腔ケアの方法</li> </ul>
⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	17. 5	16	1. 5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗に関する基礎知識</li> <li>・様々な移動・移乗に関する用具とその活用方法</li> <li>・利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗</li> <li>・移動と社会参加の留意点と支援</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗に関する基礎知識</li> <li>・様々な移動・移乗に関する用具とその活用方法</li> <li>・利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗</li> <li>・移動と社会参加の留意点と支援</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数のグループに分かれて実技演習を行う</li> <li>・ボディメカニクスを用いた動きの基本</li> <li>・様々な姿勢への体位交換</li> <li>・車いすの使い方と介助方法</li> <li>・ベッド・車いす間の移乗</li> <li>・歩行の介助</li> </ul>
⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	4	1	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関する基礎知識</li> <li>・食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ</li> <li>・楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> <li>・食事と社会参加の留意点と支援</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関する基礎知識</li> <li>・食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ</li> <li>・楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> <li>・食事と社会参加の留意点と支援</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数のグループに分かれて実技演習を行う</li> <li>・食事介助の技法</li> </ul>
⑨ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持に関する基礎知識</li> <li>・さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法</li> <li>・さまざまな入浴・清潔を保つための方法</li> <li>・楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持に関する基礎知識</li> <li>・さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法</li> <li>・さまざまな入浴・清潔を保つための方法</li> <li>・楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数のグループに分かれて実技演習を行う</li> <li>・入浴介助の方法</li> <li>・ケリー・パッドを使用した洗髪の介助</li> <li>・足浴介助・陰部洗浄・清拭の方法</li> </ul>
⑩ 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関する基礎知識</li> <li>・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法</li> <li>・爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関する基礎知識</li> </ul>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法</li> <li>・爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ul> <p><b>【演習方法】</b> 少人数のグループに分かれて実技演習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータブルトイレでの排泄介助</li> <li>・おむつ交換の方法</li> </ul>
⑪ 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1. 5	1	0. 5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠に関する基礎知識</li> <li>・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法</li> <li>・快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠に関する基礎知識</li> <li>・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法</li> <li>・快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b> 少人数のグループに分かれて「不眠という課題を抱えた利用者への支援方法について」事例検討を行う。</p>
⑫ 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1. 5	1	0. 5	<p><b>【通信学習課題の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ</li> <li>・「死」に向き合うこころの理解</li> <li>・苦痛の少ない死への支援</li> </ul> <p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ</li> <li>・「死」に向き合うこころの理解</li> <li>・苦痛の少ない死への支援</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b> 少人数のグループに分かれて「ターミナルの利用者への多角的な支援について」事例検討を行う。</p>
⑬ 介護過程の基礎的理解	5	5	0	<p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的・意義・展開</li> <li>・介護過程とチームアプローチ</li> </ul>
⑭ 総合生活支援技術演習	5	5	0	<p><b>【講義内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(事例により)一連の生活支援を提供する展開と技術</li> <li>・利用者の心身の状況にあわせた介護の提供</li> </ul> <p><b>【演習実施方法】</b> 少人数のグループに分かれて事例検討を行う。 様々な場面における介護のポイント演習を行う。</p>
(合計時間数)	7 5	6 3	1 2	

使用する機器・備品等	車いす・テーブル・足台・防水布・エプロン・自助具・椅子（背もたれや肘掛けのあるもの）・クッショング・食器（食べやすく工夫されたもの）・ビニール・タオル・ストロー・スプーン・フォーク・はし・吸いのみ・おしぶり・とろみ剤・ポータブルトイレ・取り付け式手すり・便器（和式・和洋折衷型・洋式）、尿器（男性用・女性用採尿器）・各種おむつ・おむつかバー・パッド・ゴムマット・バスタオル・汚れたおむつを入れる容器・着脱しやすい衣類・トイレットペーパー・パジャマ・寝巻き（ゆかた式）・ベッド・椅子・バスタオル・簡易浴槽・シャワーチェア・手すり・洗面器・バスボード・浴槽台・便器・滑り止めマット・防水シーツ・クッション枕・ヘアブラシ・くし・シャンプレー・リンス・石鹼・綿棒・ドライヤー・洗髪パッド・バケツ・陰部洗浄容器・ドライシャンプレー・ゴム手袋・やかん・ビニールシート・洗髪器・ガーゼ・歯ブラシ・コップ・受水盆・舌ブラシ・巻綿子・コップ・マットレス・毛布・枕・クッショング・枕カバー・シーツ・小枕・大枕・介助バー・手すり・歩行器・各種杖・白杖・アイマスク・三角巾・包帯・消毒ガーゼ・段ボール
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成25年10月16日現在

## シラバス

指定番号 138

商号又は名称： 社会福祉法人 成光苑

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだ事について再確認を行う。</li><li>・就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成を図る。</li></ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2	—	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修をして学んだこと</li><li>・今後継続して学ぶべきこと</li></ul> <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修を通して学んだことを振り返り、グループディスカッションと発表を行う。</li></ul>
② 就業への備えと研修終了後における実例	2	2	—	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・介護現場で学び続けるべき知識及び技術その必要性</li><li>・介護職の職務内容及びその課題と解決方法について (講師の体験談及び全体のディスカッション)</li></ul>
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。